

学校だより

かぎやま

発行
久米島小学校
平成27年
11月16日
第14号

笑顔輝く 嘉儀山フェスタ

笑顔と感動を届けよう
最高の演技を今ここに

各学校で取り組まれている、音楽・演劇などの鑑賞会や学習発表会等は、文化的行事として位置づけられ「平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に楽しんだりするような活動を行うこと」を狙いとして年間を通して計画的に実施されています。嘉儀山フェスタ等は、このようなねらいを踏まえ、各学校の特色等を活かして実施されます。本校では、嘉儀山フェスタ（学習発表会）において、次のことを目標に掲げて実施することとしています。

◆学校生活を楽しくよりよいものにするために、互いに努力を認め合いながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、互いのよさを見つけ合う喜びを感じることを◆取る組を通して自己の成長を振り返り、さらに伸ばそうと意欲をもてるようにする。◆どの子も発表する機会を通し、発表力、表現力を伸ばし創造性を培う。◆仕事や役割を分担することにより責任と強力の精神を培う。静かに規律正しく鑑賞する態度を育てる。等を掲げています。

十一月二十九日（日）に開催される嘉儀山フェスタに向け、子ども達は、日々の練習に取り組んでいるところです。右の見出しは、代表委員会を中心に子ども達によって決定されたスローガンです。スローガンには「保護者や地域の皆様に、これまで学習したことを笑顔で堂々と発表し、成長した姿を見てもらいたい」という強い思いが込められています。フェスタ（学習発表会）は、日頃の学習の成果を発表し、達成感や満足感を味わいことで諸活動における意欲を一層高めてくれます。また、取組過程において、アイデアを出し合ったり、協力し合ったりすることで相互の関係がよりよい方向へと構築されていきます。

当日は、子ども達の成長した姿をご覧いただきたく多くの皆様の御来場をお願いいたします。

秋の気配

朝夕の風が心地よく感じる季節となりました。学校においても季節にちなんだ行事等を計画し、実施してきました。ちようどの頃は、紅葉や初冠雪の便りが全国から届けてきます。夏から秋、冬へと季節は移り変わりますが、南国の沖縄では、季節の変化を中々実感することはできません。しかし、植物には季節の変化をしっかりと感じ、寒さの増す冬に備えて支度に入っているものも目にします。アラ岳などの標高の高い山では、ハゼノキや、ススキなど

がほんのり色づき、ドンダグリの実は秋の気配を醸し出しています。本校では、低学年の生活科で秋を見つける学習が計画されています。子ども達には植物等の変化から季節の移り変わりをしっかりと感じたいと願っています。各家庭においても休日等を利用して、久米島の秋を探してみようでしょうか。多くのことが発見できると思います。



防火パレード(幼稚園)



「音読」の習慣

人間は、言語の交流により、多くの知識を獲得すると言われています。会話や話を聞くこと等、知識を形成する上で、音声からの情報をどのようにして獲得するかが重要になります。このことは、本地区の「嘉儀山教育村づくり」の努力点にも「一日一回の音読」「ファミリー読書」として具体的に示されています。

小学校国語科の学習は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と特質に関すること」で構成されています。「読むこと」では、どの学年にも音読が位置づけられており、

低学年では、言葉のまとまりや響きなどに気をつける。

中学年では、内容や場面の様子がよくわかるように。

高学年では、自分の思いや考えが伝わるように。

と、各学年の段階に応じた目標が設定されています。

音読には、自分が理解しているかどうかを確かめたり、深めたりする働きと、他の児童が理解するのを助ける働きとがあります。自分が理解しているかは、文字を確かめ、内容が理解できているかやどのように感じるかなどを自分の声を自分で聞きながら把握することになります。他の児童の理解を助けることについては、音声化することによって、互いに理解し合っているかを確認し合うことや、一人一人の理解や感想などを音読に反映することにもなります。音読等は、内容を理解したり、それを広げたりすることや読書に親しみ、楽しんで読書をしようとする態度を育成するためにも大変重要です。

音読の重要性については、昨年度も学校便りの中で触れさせていただきました。是非とも、各家庭において、声に出して読むことを習慣づけるよう取組をお願いいたします。